

JA全農北日本  
くみあい飼料株

## 第12回和牛枝肉共励会

「福島チャレンジ！ 福島牛から元気を発信」

JA全農北日本くみあい飼料株(株)福島営業所主催の和牛枝肉共励会が、9月2日(土)に福島県食肉流通センターで開催され、当社の配合飼料をご利用いただいている和牛60頭(去勢48頭、雌12頭)が出品されました。

枝肉は同日せりで販売し、枝肉の平均単価は1キログラム2,409円と好成績でした。最高額は最優秀賞に輝いた土屋伸明氏の4,051円で落札されました。

表彰式は、郡山市内の県農業総合センターで行われ、入賞者に賞状や副賞が手渡されました。審査講評では、どの枝肉も脂や肉



最優秀賞枝肉



最優秀賞 土屋 伸明さん  
枝肉重量 580.0kg



表彰式の様子

質などすべてバランスがよく、4等級以上が93%と非常に高いレベルだった、と講評をいただきました。その後、JA全農飼料畜産中央研究所 笠間乳肉牛研究所の藤田和政室長代決より、枝肉重量を向上させる飼養技術管理について講演をいただきました。成績は次の通り。(かつこ内はJA名)

- 最優秀賞 土屋 伸明(会津よつば)
  - 優秀賞 鈴木 廣直(ふくしま未来)
  - 和山孝明(ふくしま未来)
  - 優良賞 桑原 伸二(福島さくら)
  - 柳枝 伸二(夢みなみ)
  - 湯浅ファーム(会津よつば)
  - 五十嵐ファーム(会津よつば)
  - 遠藤 峰雄(会津よつば)
  - 奨励賞 狗飼 功(ふくしま未来)
  - 上野 広行(ふくしま未来)
  - 太田 一郎(夢みなみ)
  - 鈴木 武市(美土里耕産)
  - 湯浅 卓也(美土里耕産)
- (敬称略)

燃料部

## 愛LOVEサンキューフェア 夏の陣 抽選会

JA SS



あいさつした、佐藤県副本部長

当選者決定!!



抽選した、佐藤県副本部長と金成燃料部長

JA・SSでは、恒例となった「J・A・SS 愛LOVEサンキューフェア・夏の陣」を7月15日～8月13日までの1ヶ月間、県内60SSで開催しました。今年度の応募総数は、13,412件とたくさんご応募をいただきました。日頃のご愛顧に感謝申し上げます。

も抽選にもれた方を対象に、Wチャンス賞(灯油券10,000円)を15名様、決定いたしました。見事に当選された方、誠におめでとうございます。当選は発送をもって代えさせていただきます。

今回当選された方、惜しくも当選されなかった方も、11月18日から12月17日にかけて、「JA・SS愛LOVEサンキューフェア・冬の陣」を実施しますので、ご応募お待ちしております。

畜産部

## 第15回 畜産女性研修会を開催

生産者の方々及び各団体の方々、お忙しい中ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

生産者の交流及び福島県畜産物の理解醸成・消費拡大を目的に、毎年開催されておりますJA全農福島畜産女性研修会が、9月15日(金)に福島市の摺上亭大鳥で開催されました。

第15回となりました今回は、生産者の方々、各団体の方々を含め約250名という多数のご参加を頂きました。

講演では、講師に落語家の「三遊亭 多歌介」氏をお招きし、「笑いの効用(言葉の大切さ)」という内容でお話いただきました。講演中は、日頃の疲れを吹き飛ばすかのような笑い声が絶えず響き渡っていました。

講演後にはお食事会として、福島牛や麓山高原豚、福島県産の牛乳を使用したグラタンなどの福島県の食材にこだわった料理に舌鼓を打っておいしかったです。

1日を通して、日々の業務の疲れを癒すとともに、生産者の方々どうしで交流を深めることができました。



講師 「三遊亭 多歌介」氏



お食事会の風景

米穀部

## マレーシアで 福島県産米をPR

8月23日(水)、マレーシアで福島県産米のトップセールスを実施しました。福島県産米のマレーシア向け輸出については、米卸の沖繩食糧株式会社、現地のインポーターであるエダランコマチ社、福島県、JA全農福島の四者が連携のうえ、平成26年から取り組んできました。今回は四者がマレーシアにおいて、今後年間100トン輸出することを合意した合同記者会見と、現地のスーパーマーケットでの店頭プロモーションを行いました。

合同記者会見では内堀福島県知事より、四者が今後、福島県産米のマレーシア向け輸出年目標数量100トン合意したことが発表されました。また、猪股県部長からは、マレーシアの多くの方に福島県産米を食べていただけることへの期待と、産地として今後

も美味しい・安心なお米を提供することへの決意が述べられました。



合同記者会見の様子



店頭プロモーションを実施

合同記者会見後はクアラルンプール市内の「ビレッジグロサー」(現地のスーパーマーケット)で店頭プロモーションが行われ、福島県産米の試食販売などを実施しました。当日は福島県産の桃のプロモーションもあわせて行われ、今後のマレーシアにおける福島県産農産物の販売拡大へ弾みをつけました。

近年、経済成長が著しいマレーシアにおいては、日本産農畜産物に対する品質・味の評価が高く、さらなる需要拡大が見込まれることから、JA全農福島では引き続きマレーシアも含めた諸外国への米輸出拡大に取り組む、「ふくしまの米」を全世界にPRしていきます。